

〜問題提議〜

日本には、七五三、十三参りなど様々な意味想いを込めて作られた「通過儀礼（イニシエーション）」というものがある。
しかし、現代では、「めんどうくさい」「いまいちよくわからぬ」といった理由でないがしろにされがちだ。

そこで



自分たちで通過儀礼を作ろう！

イニシエーションを作るにあたって
念頭に置いたのは

- ・十三〜十八歳の間に行うもの
- ・親子間のコミュニケーションがとれるもの
- ・親が子へと伝えていけるもの
- ・日常生活の中で行えるもの

提案

親が子へ、子がまた子へ伝えて行きやすい通過儀礼を提案する。



締め始め
一三歳 四月四日
中学入学の年なので、詰め襟を着て、気を引き締める日。制服を着て家族と写真撮影する。



衣落とし
一四歳 八月八日
洗面台で親子並んで歯磨きすることで身長や雰囲気成長を感じる。



成年式
一五歳 誕生日
この日を境に、子供は「大人としての自覚を」大人は「子供扱いしない」よう心がける。



締め直し
一六歳 四月四日
高校入学を機に再び気を引き締め直す。(引き始め同様)



先語り (幸福語り)
一七歳 七月二日
この時期は進路など将来のことが曖昧な人が多いので、親の体験談を聞いたり相談する。



自立 (自律)
一八歳 一年間
自分の意志や親の苦労すべてをひたすらくめる社会に出る心構えを養っていく年。

結果

制服を着たり、歯みがきをしたりと日常の中で何気なくすませていくこと。また、進路相談、家族写真の撮影など普段なかなかしないこともイニシジョンとして確立することで、より自然に、そして濃く記憶に残るものになる。